

松山市外国人観光客実態調査業務

アンケートから見る外国人観光客の現状と特徴 市内主要観光地の受入環境の実態について

2019.12

IRC IYOGIN
REGIONAL ECONOMY RESEARCH
CENTER INC.

いよぎん地域経済研究センター

目的

動態調査では把握できない観光客の属性や旅行(訪松)のきっかけ・目的、体験・満足度、消費動向などを明らかにし、松山ブランドの価値の明確化、基本方針・事業提案の検討を行うための基礎データとする

期間

2019年8月～11月 (注 動態調査の実施時期とは異なる)

対象

松山を訪れた外国人観光客 N=459

場所・方法

場所 松山空港、松山城山ロープウェイ駅舎、百貨店、松山市内宿泊施設、観光案内所
方法 対面調査、留置き調査

調査項目

- 属性
- 旅行内容
- 訪日・訪松理由等
- 訪問場所・利用交通機関
- 体験
- 満足度
- 消費
- 再訪意向

調査の概要 アンケート調査_広島/ヒアリング調査

アンケート調査_広島

目的

- 170万人以上の外国人観光客が訪れる広島市 ※特に松山市に少ない欧米系が多く訪れる
- －松山市が目指すべき受入環境整備のベンチマークとして捉え、満足度等を把握する
 - －松山のPRも兼ねた観光資源の認知度、興味・関心の度合いを把握する

期間

2019年9月～11月

対象

広島市内のホテルに宿泊した欧米系外国人観光客 N=53

場所・方法

広島市内ホテル(2カ所)での聞き取り調査

調査項目

- 属性 ●旅行内容 ●受入環境満足度
- 松山市の認知度
- 松山市内観光地に対する興味・関心 など

ヒアリング調査

- 目的 アンケート調査の補足、通年の外国人観光客の傾向等を把握すること
- 対象 観光案内所、宿泊施設(6)、交通(2)
- 聴取事項 利用状況、外国人向けの対応状況、ナイトタイム対応 など

調査の概要 市内主要観光地の受入環境実態調査

目的

市内主要観光地における外国人観光客の受入環境の実態を把握し、満足度向上を図るための課題を明らかにする

期間

2019年10月

調査員

台湾 2名 / 韓国 2名 / 中国 4名 / 米国 2名 / 英国 1名 / カナダ 1名
計12名

対象場所

※松山市が所管する公共施設中心

観光案内所（松山空港、松山観光港、JR松山駅、道後温泉商店街、松山城山ロープウェイ駅舎、愛顔の観光物産館）
松山城 二之丸史跡庭園 道後温泉本館 椿の湯 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉
坂の上の雲ミュージアム 子規記念博物館 市内交通機関 銀天街・大街道 三津浜地区

調査項目

- 外部からの視認性
- 多言語対応（案内図/サイン/トイレ/利用料・支払方法/アナウンス/WEB/スタッフ）
- WiFi等通信環境（Free-WiFi/SIM/WiFiルーター/充電）
- 決済環境（クレジット/バーコード・QR/免税） ● アクセス環境 ● 情報提供 ● その他